

全国一般 情報

《2015年2月3日号》

地方労組 2015 年度第 1 回委員会開催

山口地方労組 2015 春闘方針を決定！

全国一般山口地方労組は、1月31日に周南市「国民宿舎湯野荘」において2015年度第1回委員会を、役員10名、代議員14名、傍聴3名の27名参加で開催しました。

委員会は西本副執行委員長による開会挨拶に引き続き資格審査委員に北村執行委員を選出し、委員会の成立宣言をした後、議長に東ソー物流支部の内山代議員を選出し議事を進めました。

冒頭あいさつに立った末次委員長は、2015春闘について、昨年について追い風が吹く春闘の取り組みとなるが、大手企業によるグループ、関連企業への単価の引き上げがされない賃金は上がらない、企業側に単価の引き上げを要請する必要性と4月の統一地方選挙において、地方労組、自治労県本部、連合山口が推薦および支援する各予定候補の必勝への取り組みと周南市長選挙についての取り組みについて述べました。

続いて、自治労県本部の榊本書記長より2015春闘を取り巻く情勢、1月17日に開催した自治労県本部春闘討論集会について、安倍内閣の公務員に対する敵対視および経済のトリクルダウンされてない状況、統一地方選挙の県本部の取り組みなど、連帯の挨拶を頂きました。

議事に入り、「一般経過報告」承認の後「2015春闘方針」が提案され、中小共闘の賃金カーブ維持分4,500円+賃金引き上げ6,000円を基礎に、全国一般は生活の維持・向上と低位に置かれている中小労働者の格差是正を基本とする「平均賃上げ要求（定昇相当分込）13,500円以上」を要求基準として取り組んで行くことが全体の拍手で承認されました。議長降壇の後、松原副委員長が春闘にむけて決意を述べた閉会の挨拶に続き、末次執行委員長の「団結がんばろう！」で締めくくりました。

全国一般山口地方労組 2015 春闘統一要求
平均賃金引き上げ要求 13,500円（以上）定昇相当分込

第34回労働学校開催

午後からの参加者も含め総勢30名で第34回労働学校を開催し、池亀書記次長を座長に、最初に中国ろうきん徳山支店の福田支店長と沖田調査役から「勤労者のためのライフプラン」について、次に全労済東部支所の辻野支所長、竹下係長からは「事業開始60周年を迎えて～火災共済の制度改定について～」のDVD鑑賞と「団体生命共済の制度改定について」の講演、最後に連合山口の山近事務局長より「連合山口春季生活闘争方針」と「年金積立金は誰のもの？私たちの年金が危ない！！」の講演をいただきました。労働学校は座長の的確な進行により参加者の活発な質疑等で定刻を少し超過しましたが、無事終了しました。

18時からの夕食懇親会は司会を西本副委員長に交代して乾杯の音頭で始まり、しばしの親睦を深め、恒例のビンゴ大会では副委員長を中心に永大産業山口支部のみなさんの進行で盛り上がり、景品は執行委員長賞他、労金徳山支店、全労済東部支所からも賛助していただき参加した全員が、楽しい時間を過ごし、山本執行委員の締めの音頭で会を終えていきました。

あらためて早朝より参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、これから始まる2015春闘は、私たち全国一般地方労組にとって、厳しいものになると想定されますが粘り強く交渉し、昨年を超える賃上げを勝ち取れるよう共に頑張りましょう！！